

Japa のめざすところ

■ “専門家個人が専門家として居場所を得て

活躍できる社会づくりを目指して”

多様な分野の自律した専門家（個人・群）が緩やかに繋がり、
専門家個人としての新しい働き方/生き方を実現しつつ、
社会的存在価値を高めるためのプラットフォームとして社会に貢献する

【専門家の自律分散協調型NWづくり】

- プロ、プロボノ、副業、有償ボランティア → やりがい、生きがい、社会貢献 → 自己実現
 - ・ 「専門家個人としての顔（名刺）」を持つ
 - 個の専門家(個人/群)を超える社会的影響力の発揮（コレクティブインパクト）
- 専門家が活躍できる場づくりの“突破口”として、多様な分野の専門家を必要とする社会/地域課題解決のテーマ/場である「地方創生」に取り組む

補：社会/地域課題の構造とアプローチ

→ レジリエントな地域づくり(地方創生)

コミュニティ【市民（住民・就業者・企業・団体等）】
域外関係者（個人・企業・団体等）

市民主導の集合知に基づく合意形成アプローチ



行政主導の公的合意形成プロセスによるアプローチ

基礎自治体

Japaの活動の3つの柱

※青字：既存実績あり 緑字：今後実施(案)

1. 専門家（個人・群）のゆるやかな連合機能体をめざす。

→ 会員・**連携団体** + 顧問・協賛・賛助 → 人脈/集合知拡充

[参考例] 高齢社会NGO連携協議会（任意団体）：国連の提唱等（高齢化問題を全世界の課題として認識するよう警鐘）に共鳴したNGOを正会員とする**連合組織**

2. 専門家（個人・群）の知の集積/アーカイブ、発信力強化の場をめざす。

→ HP(知のアーカイブ)、Newsletter（ネットリリース）、フォーラム/交流会
/シンポジウム、通信制/オンライン大学との連携
※ 知のアーカイブ：「私の履歴書」的時代の記録、専門家のサイト承継、最終講義録・・・

[参考例] 特定NPO法人国際環境経済研究所：環境と経済の両立に同じ思いを持つ幅広い分野の人たちが集まり、**インターネット等を通じて情報を発信**

3. 専門家（個人・群）の「ネットワーク型 Think & Do タンク」※をめざす。

※ 人&Projectベースでネットワークして、Think で終わらず、Do（具体化//実装）まで関わる（支援/実践）
→ 報告/提言、大機コンソ、知恵ラボ、研究開発/社会実装型公募
研究会（コンセプト/政策/Project/コンソ興し→横展開）、
自治体との意見交換/相談の場、実務的仕組みづくりの提案・実装支援
専門家の知/グッズEC、その他

[参考例] **非ネットワーク型**：構想日本、福岡地域戦略推進協議会

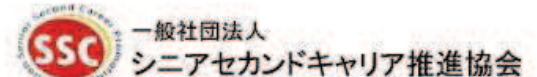
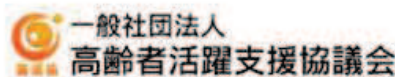
Copyright © 2023 Japan Association for Professionals' Activities. All Rights Reserved.

3

参考：Japaの 連携団体



より多くの連
携団体が集い
繋がること
により、連合機
能体の強化へ



Copyright © 2023 Japan Association for Professionals' Activities. All Rights Reserved.

4

参考: イベントによる つながりの拡大と発信力強化



大磯地方創生フォーラム 2023

社会課題と地域創生

小さな町だからできること

2023.7/8日
13:00~15:00 受付30分前

会場▶ノジマ大磯スクウェア
大磯駅前 旧アクサ生命研修センター

大磯地方創生事業推進コンソーシアム(略:大磯コンソ)の活動内容を町民・事業者・団体等の方々に知って頂き、大磯コンソをプラットフォームとして、個人、事業者、団体等の繋がりがこれまで以上に広がり、コレクティブ・インパクトを興し、引いては大磯町の地方創生に資することを目的に、「大磯地方創生フォーラム 2023」を開催いたします。

基調講演
四国一小さな町 徳島県上勝町から 広がるゼロ・ウェイスト **大塚 桃奈**

パネルディスカッション
社会課題と地域創生 小さな町だからできること **大塚 桃奈**
コーディネーター **大塚 由美子**
パネリスト **大塚 桃奈**
関山 隆一
加瀬 さやか
磯崎 清彦

定員: 100人
参加費: 無料(事前申込)

WEBの「参加申込書」を事前送付
<https://www.oiso-conso.com/s-projects-basic>

主催: 大磯地方創生事業推進コンソーシアム
大磯事務所 大磯町庁舎本郷 709 201
後援: 大磯町、大磯町商工会、(公社)大磯町観光協会
協力: NPO 法人西湘をあそぶ会、大磯町民会、大磯、NPO 法人大磯だいすき倶楽部

Copyright © 2023 Japan Association for Professionals' Activities. All Rights Reserved.

参考: 産学官によるネットワーク型Think&Doタンクの実践

Zoom, mail, Slack

JST公募採択Project

サービス・モビリティと多形態コミュニティの繋がりによる社会的孤立・孤独予防モデル

研究実施体制: 情報×人×社会×モビリティ×地域等の専門家・実務家チーム

名古屋大学G (研究代表)



星槎大学G



慶應義塾大学G



インターネットITS協議会G



大磯コンソーシアムG



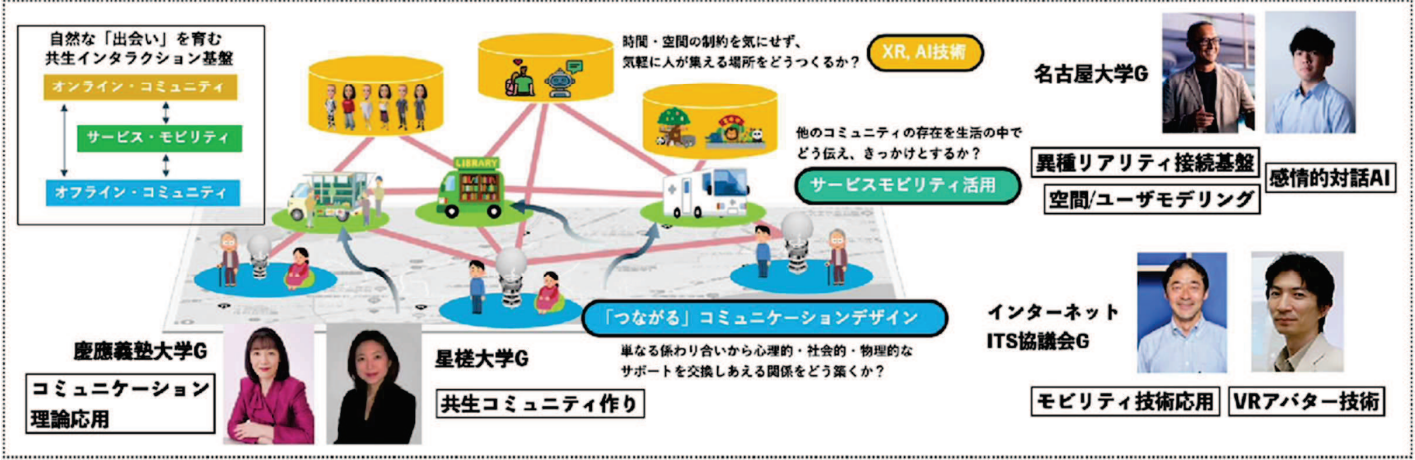
協力機関

- ・ 神奈川県大磯町
- ・ 地域IoTと情報力コンソーシアム
- ・ 健康情報コンソーシアム
- ・ Tao Haus (認定フリースクール)

Copyright © 2023 Japan Association for Professionals' Activities. All Rights Reserved.



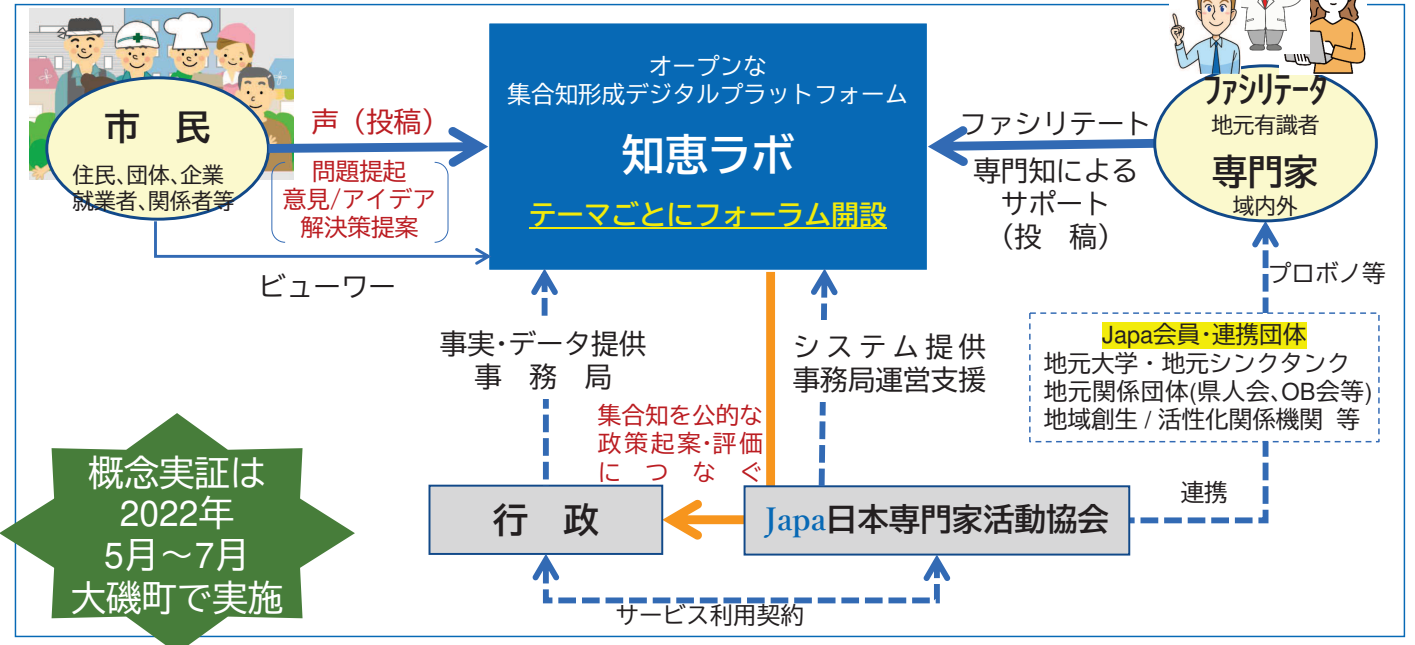
実施項目3: 社会的孤立・孤独を予防する社会的仕組みの構築



参考: 本格版「知恵ラボ」の開発・導入

1. ネットを利用して、「市民の声を聞く」、「他の市民の声が見える」、「市民の声（総意）がわかる」
2. 事実・データをベースに、**ファシリテータ・専門家も参加して集合知の導出**
3. 直接的な公的合意形成ではなく、公的な政策起案・評価につなぐ
4. オープンなデジタル場を介して、リアル社会でつながる機会の拡大のきっかけとなる
5. **知恵ラボの地方展開を通じて、全国（地方）の多様な専門家の活躍の場を興し連携する**

顔が見える環境よりもテキストベースの方が有効！



補:「知恵ラボ」の合意形成プロセスにおける位置づけ

■「知恵ラボ」は、「**公的な合意形成**」の前段階において、市民主導型の「集合知形成」（課題解決策の代替案）をデジタル技術を活用して行い、「**市民総意**」として、**公的な「政策起案」**につなげる。

※この仕組みは、起案時の「**庁内意見交換・聴取**」、検討段階の既存の住民への「**意見聴取**」においても活用できる。

